

史跡指定地と本質的価値を構成する構成要素

位置	No.	構成要素	年代	構造	位置	No.	構成要素	年代	構造
公加園賀	1	射撃	近代	煉瓦造	旧野口研究所	14	水槽	昭和18年～昭和20年	コンクリート製
	2	軽便軌道敷跡	明治39年頃	煉瓦造		15	常温貯蔵室	大正10年～昭和9年	RC造平屋建
	3	築山	近世			16	試験室No552	昭和18年～昭和20年	RC造平屋建
旧野口研究所	4	土塁	大正10年以前	版築	旧理研	17	試験室No672	昭和18年～昭和20年	RC造平屋建
	5	弾道管	大正10年～昭和9年	コンクリート製 ビューム管		18	塙壁	昭和18年前後	煉瓦造
	6	発射場基礎	大正10年～昭和9年	コンクリート製		19	宿舎コンクリート基礎	昭和18年～昭和20年	RC造
	7	発射場				20	中性子観測所土台	昭和40年代	
	8	加温貯蔵室試験火薬収置場	昭和9年～昭和12年	RC造		21	コンクリートアンカー	?	コンクリート製
	9	軽便軌道敷跡	明治39年頃			22	井戸	?	コンクリート製
	10	機業製造実験室	昭和10年	RC造平屋建		23	機業理学試験室	昭和9年～昭和12年	RC造平屋建
	11	銃器庫	昭和9年～昭和12年	RC造平屋建		24	物理試験室 C棟	昭和13年頃	RC造平屋建
	12	燃料実験室	昭和18年～昭和20年	RC造平屋建		24	物理試験室 D棟	明治40年頃	煉瓦造平屋建
	13	加温貯蔵室	大正10年～昭和9年	RC造平屋建		24	物理試験室 E棟	昭和6年頃	RC造平屋建
				25	(摩羅試験室)	昭和18年頃	コンクリート製		



平成29年10月指定

史跡指定地 12,553.12㎡(赤線部分)

(内訳) 旧野口研4,430.1㎡、旧理研2,858.99㎡、加賀公園5,264.03㎡

面積比較

加賀藩下屋敷 217,939坪 (≒ 720,459.5㎡) ※明治初年の面積

板橋火薬製造所 152,015坪 (≒ 502,528.93㎡) ※昭和18年の面積

史跡指定地 3,797.32坪 (≒ 12,553.12㎡)

→史跡に指定された土地は、加賀藩下屋敷の1.7%、板橋火薬製造所の2.5%に相当。